

シグマ委員会・核融合核データワーキンググループ会合議事録

日 時 平成4年1月17日(金) 13:30-17:30
場 所 原研本部 第3会議室
出席者 岩崎 信(東北大)、千葉 敏(原研)、中島 豊(原研)、
前川 洋(原研)、真木 紘一(日立)、村田 徹(東芝)、
神田幸則(九大)

配布資料

- FN-91-10 FUSIONファイルについて(前川)
FN-91-11 DDX: JENDL-3, JEF-2, ENDF/B-VI Li-6, Li-7, Be-9, B-10, B-11, C-12,
N-nat, N-14, O-16, Pb-nat (中島)
FN-01-12 Agenda: IAEA Advisory Group Meeting on FENDL-2 and
Associated Benchmark Calculations, Nov. 18-22, 1991, Vienna
Reports of Working GROUPS;
I: Review of General Purpose File for FENDL-2
II: Activation Data and Codes
III: Neutron and Gamma-ray Data Processing, Integral
Experiments and Benchmark Calculations
IV: Review of Charged-Particle Data for FENDL
V: The Strategy for the Future Development of the FENDL
Library (前川)

報 告

1. FENDL会議(1991.11.18-22, Vienna)
出席した中島、前川、神田委員から、資料FN-91-12を基に、報告があった。
FENDL-1を見直してFENDL-2を作成する方針が討議された。
FENDLはNJOYによるgroup constant化をする。Integral
experiment との比較によるnuclear data testing、ITERへの寄与など
が強調された。この中にはFNSによる実験を基にするもの等が含まれる事、
また、討議された項目へのわが国からの寄与は、特別に対応する活動をはじ
める必要はなく、むしろ、わが国のactivityは相当に高い現状にあるとの認
識が述べられた。
2. ITER計画の進捗状況
出席委員間で情報の交換がなされた。しかし、概要を纏めて聞きたいとの
要望が強く、関委員に依頼する事となった。

議 事

1. 軽核について(資料FN-91-10)
前回(1991.10.25)に問題となった軽核にたいするFile-6の必要性
に付いて検討した結果が報告された。軽核についてもFile-6は必要で
あるとの結論である。推進中のFusionファイルには、軽核Li-6,
Li-7, Beが含まれていなければ無意味である。わが国でも幾つかの輸
送計算コードが開発されており、それに必要である。

He-4, Li-6, Li-7, B-10, N-14, O-16についてはFile-3, -4, -5からuniqueにFile-6が作れることを確認した。

2. Fusion File としての核種の Priority

- ① H-1, He-4, Li-6, Li-7, Be-9, B-10, N-14, O-16
- ② C-12, Pb-nat
- ③ B-11
- ④ F-19
- ⑤ H-2

3. 評価データ JENDL-3 の判定 (資料 FN-91-11)

JENDL-3 の DDX を個別に判定した。 ([A]:満足、[B]:このままでよい、[C]:改訂必要)

- ◆ H-2 []
- ◆ Li-6 [B]
- ◆ Li-7 [A]
- ◆ Be-9 [保留、DDXの図を見てから判定]
- ◆ B-10 [A] ただし、低中性子エネルギーでは [B]
- ◆ B-11 上に同じ
- ◆ C-12 [B] pseudo level にしたら [A]
- ◆ N-14 判定しない、JENDL-3.2 は [A] のはず
- ◆ O-16 [A]
- ◆ Pb [C] 改善の見通し有り
- ◆ ただし、H-2, Be-9, C-12 については評価者柴田氏に File-6 作成について打診する (中島委員)。

4. 来年度計画

- 1) Fusion file 作成の担当者、体制はきまっているので、評価者と使用者の両者の検討の場とする。
- 2) Fusion に関連有る項目:
 - Neutronics
 - 核発熱
 - 材料損傷
 - Activity
 - Decay Heat と安全性
 - Charged particle reactions

次回 3月中旬予定